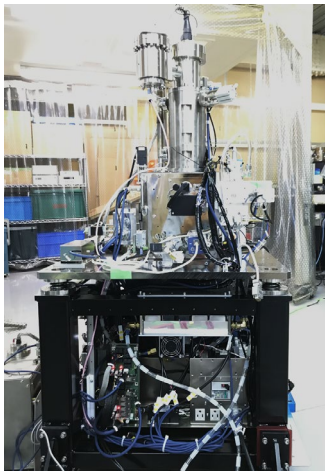
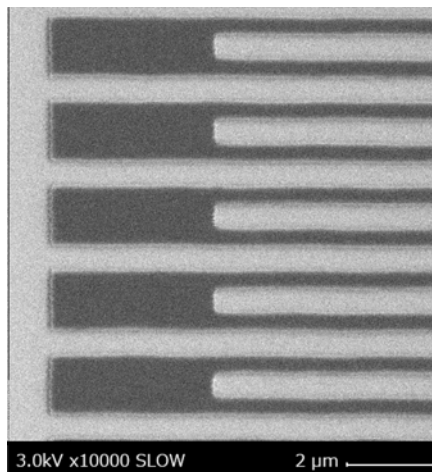


令和2年度沖縄国際物流拠点等活用推進事業の成果概要

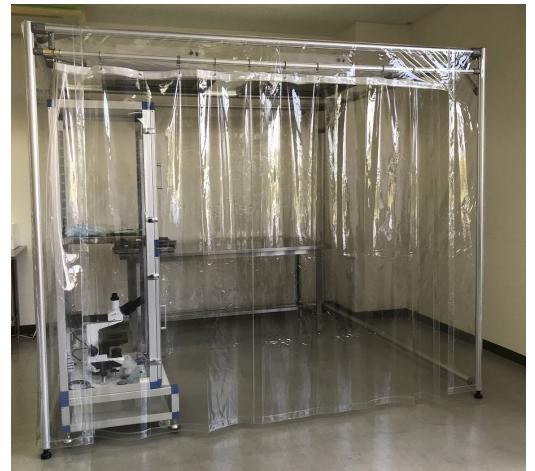
事業実施主体	株式会社TCK
プロジェクト名	新型電子線描画装置の生産体制構築と当該装置を活用した受託製造販売事業の拠点化形成
事業内容	半導体製造市場のアジア集約/巨大化を視野に入れ、次世代研究開発の中心技術である電子ビームを応用した半導体製造装置を、日本国内で一番生産エリアに近く製造/研究開発/物流での総合拠点化が図れる沖縄で製品化し、戦略的に事業展開する。
今後の計画	2021年度：計画無し 2022年度：海外 中国 1,200kg 2023年度：海外 中国／台湾向け 3,600kg
最終目標と現状	最終目標) ①2025年度には海外へ年間8.4 t (売上金額10.5億円) 輸出 ②2025年度までに累計18名の新規雇用 現状) ①コロナ渦における影響を鑑み、機能拡充のための開発を実施中 ②リモート面接を中心として採用活動を継続中
補助事業の効果	新型コロナウイルスの影響下で事業当初の計画とは一部異なったが、 <ul style="list-style-type: none"> ・新型電子線描画装置を開発 ・装置性能評価用の器具類の導入が完了 ・装置量産化体制のための必要設備等の準備が完了 ・本事業を通じて、沖縄県内での企業、教育・研究機関とのつながりが深化 ・沖縄での当社認知度が向上したことで、採用募集数が増加 <p>今後は、本事業で開発した電子線描画装置はデモンストレーションマシンとしても活用できるため、販路開拓に活用していく。</p>



開発装置



装置成果物例
(SAWフィルタ)



導入設備